

第1回

菊の輪サロ^ンを開催しました!

5月16日(土)に「花せやまるをつくろう!プロジェクト 第4弾」参加メンバーが集まって「第1回菊の輪サロ^ン」を開催しました。当日は14名の皆さんが自宅で作っている「ポット苗」を持ち寄り、5号鉢への植え替えを行いました。その後、瀬谷菊友会の講師から「水やり」や「消毒」などについてお話いただきました。終始、和気あいあいとした雰囲気で行われたこのサロン。最後には皆さんの「1年後の夢」を紙の「菊の花」に書いて貼り合わせ「花せやまる」が出来上がりました!



育てたポット苗を持ち寄り、5号鉢への植え替え実習を行いました。



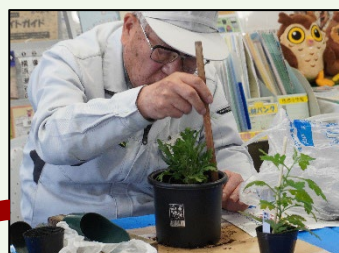
① ポット苗、鉢、土、肥料、スコップなどを用意します



② 鉢の底面から5~6cmのところまで土を入れます



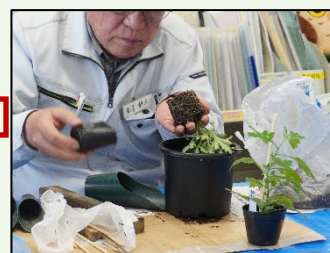
③ 土を突き固めます。先生は専用の棒を使っていますがスプーンを使っても可です



⑥ 苗の周りの追加した土を突き固めます。締まった土には強い根が張り、菊全体の生育が活発になります



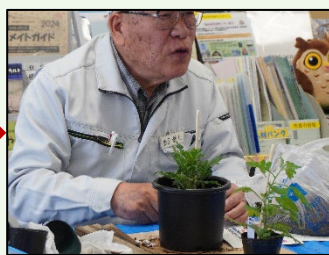
⑤ ポット苗の周りに土を入れます。ポット苗の土面が鉢の上縁部から2~3cm下になる位置に調整します



④ ポットから苗を取り出して、鉢に入れます。ポット苗に前日から水やりをしない方が土がこぼれず取り出せます



⑦ 支えの支柱(割箸の先端を削って尖らせたもの)を、根を傷つけないよう気をつけて刺します



⑧ 苗の周りに乾燥肥料と消毒剤(顆粒)を小さじ一杯分撒いて終了です



皆さんの「1年後の夢」を「花せやまる」に!

横浜グリーンエキスポを1年後に控え、皆さんの「1年後の夢」を「花せやまる」に託しました。「今年こそは大きなドーム菊を咲かせるぞ!」「EXPO 2027を満喫する」「夢菊 大きく!」「一人一人の花が咲きますように」など、たくさんの夢が花開きました。



(次ページあります)



🌸 普段の菊の手入れについて 🌸

当日は、瀬谷菊友会さんから、水やりや肥料、消毒など **普段の菊の手入れ**についてもお話しいただきました。

水やりのしかた、肥料のやりかたについて

(Q) 水やりは、一日のうち、いつやれば良いですか？

水やりは、朝であれば6時ころまでに、または夕方日の入り後にやるのがベストです。日中の太陽が差している時間帯は避けてください。これは、菊が吸って内部に保った水分の温度が上昇して、菊自体を痛めてしまうからです。

(Q) 水やりは、どれくらいの量をやれば良いですか？

一度の水やりの量は、鉢が溢れるくらいたっぷりやってください。

(Q) 肥料は、どれくらいの頻度でやれば良いですか？

肥料は、月に1回程度でも良いのですが、週に1回の頻度でやれば安心です。乾燥肥料なら小さじ一杯分を菊の周りの土に撒きます。



消毒液のつくり方、消毒の方法について

(Q) 消毒剤には、どのようなものがありますか？

消毒剤には、うどんこ病や斑点病などに効く「**殺菌剤**」と、アブラムシやハダニなどの害虫駆除のための「**殺虫剤**」があります。用途に応じて使い分けするのが良いですが、いくつかの種類を混ぜて使用する使い方もあります。



← 今回は「アフーム」「ベストガード」「ダコニール」の3種類を混ぜました。(希釈濃度に注意しながら、十分に溶解させること！ 手の保護のためゴム手袋を付けることを推奨)

消毒液を噴霧するときは、→ 割箸などで葉を上向きにして、葉の裏側に消毒液が届くよう注意します。



(消毒剤の例：瀬谷菊友会推奨)

ダコニール1000	殺菌剤	うどんこ病、斑点病、白さび病 など
アフーム	殺虫剤	ヨトウムシ、ハダニ、ハモグリバエ など
ベストガード	殺虫剤	アブラムシ、カメムシ など

次回の菊の輪サロンは6月27日(土)開催予定！
(詳細は後日お知らせします)

